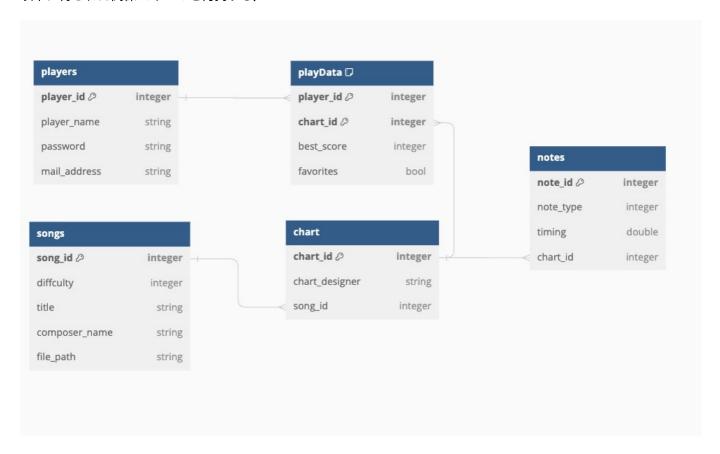
normalization.md 2023-10-13

課題3

京都大学工学部情報学科 3回 計算機 1029332978 上野山遼音

得られた各関係スキーマの関数従属性

以下に得られた関係スキーマを再掲する.



また、各関係スキーマにおける関数従属性を以下に示す.

players

- player_id => player_name
- player_id => password
- player_id => mail_address
- player_name => player_id
- player_name => password
- player_name => mail_address
- mail_address => player_id
- mail_address => password
- mail_address => player_name

playData

- {player_id, chart_id} => best_score
- {player_id, chart_id} => favorites

normalization.md 2023-10-13

chart

- chart_id => chart_designer
- chart_id => song_id

notes

- note_id => note_type
- note_id => timing
- note_id => chart_id

songs

- song_id => difficulty
- song_id => title
- song_id => composer_name
- song_id => file_path
- {title, composer_name} => song_id
- {title, composer_name} => difficulty
- {title, composer_name} => file_path
- file_path => difficulty
- file_path => title
- file_path => song_id
- file_path => composer_name

関係スキーマの再設計

上述した自明でない関数従属性は、全てBCNFの条件: 関数従属性 Y->Aが成立するならば、Yは超キーである。

を満たしているので、BCNFである。よって、これ以上の正規化は情報の損失を伴う可能性があるため、再設計の必要はないと考える。

考察

normalization.md 2023-10-13

もし再設計が必要となるようなER図を作るのであれば、以下の図のようなものを考えれば良いだろう、



この図では、元はnotesテーブルにあったものをnote型のリストとしてデータを格納することにしている。 note型は、{note_id, note_type, timing, chart_id}といったデータを格納した型である。 もしこのようなスキーマを設計した場合、その部分は1NFですらなくなる。なぜなら、notes_list属性の取りうる値が単純値でなく、値の集合となっているからである。

この場合は、元通りnotesテーブルを設計することで単純値を属性の取りうる値とし、1NFをクリアさせ、元通りBCNFの条件を満たさせることができる.